

事務事業名	認知症高齢者在宅支援事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	政策	開始	21 終了
H29作成課等名	長寿支援課	H29係等名	長寿支援係	H28担当課等名	長寿支援課	
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり			
	施策	35	高齢者福祉の推進			
目的	対象(誰・何を)	介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人		対象指標	指標名及び単位	
	意図(どういう状態にするか)	在宅での介護を受けた生活を維持する			28年度数値	
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせる高齢者の割合			12	
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	サービスの提供を受けた高齢者数/介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人(%)		60	75	70
	成果指標	他の手段で問題解決が図られた高齢者数/介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人(%)		40	25	30
定性目標						備考(指標変更など)
事業概要	<p>1 介護保険該当者で介護保険の支給限度額内では在宅生活を維持できない人に対して、限度額を超えてヘルパーを派遣する。サービスの内容は、介護保険の訪問介護と同等のサービス(生活援助、身体介護)。提供回数は、原則1日1回以内。</p> <p>2 介護保険該当の認知症高齢者で、介護保険の支給限度額内では重度化の予防が困難である者に対し、限度額を超えて通所介護サービスを提供する。サービスの内容は、介護保険の訪問介護と同等のサービス。提供回数は、原則1月4回以内。</p>					
	事業内容			名称		活動指標
28年度事業内容	<p>1 介護保険外特別ホームヘルプサービス事業 介護保険該当者で独居高齢者、高齢者世帯で、支給限度額内では在宅生活が維持できない人に対して限度額を超えてヘルパーを派遣する。</p> <p>2 介護保険外デイサービス事業 介護保険該当者の認知症の独居、高齢者世帯で、介護保険の支給限度額では認知症の重度化の予防が困難である者に対して、限度額を超えて通所介護サービスを提供する</p>			<p>1 相談件数 サービス提供者数 利用回数 家事援助 身体介護</p> <p>2 相談件数 サービス提供者数 利用回数</p>		<p>1 8人 4人 278回 396回</p> <p>2 0件 0人 0回</p>
	事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額
事業費計(千円)①		2,246	3,483	1,596	0	(そ) 老人ホームヘルプサービス負担金
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他		238	414	155		
一般財源		2,008	3,069	1,441		
人件費計(千円)②		215	0	215	0	
正規職員所要時間		60		60		
臨時職員所要時間						
総事業費①+②		2,461	3,483	1,811	0	
事業内容・目標達成状況の振り返り		介護保険外特別ホームヘルプサービス事業の対象者では、限度額を超過していたので、サービス利用し在宅での生活が継続できた。介護保険外デイサービス事業については、小規模多機能型居宅介護事業所の充実により、利用はなかった。				
改革改善の考え方	①問題点	制度を利用するにあたり、適用基準がはっきりしていないため限度額等について検討する。				
	②改革提案	制度適用の基準の明確化を行う。				